



春日小だより

令和7年9月30日
練馬区立春日小学校
校長 後藤 京子
学校通信10月号

折り返し地点

校長 後藤 京子

「暑さ寒さも彼岸まで」といわれますが、秋分の日を境に少しずつ涼しくなり、外からの風がこちよく感じられるようになってきました。道徳授業地区公開座では、たくさんの保護者の方にご参観いただきまして、ありがとうございました。

さて、学校生活では、1年の折り返し地点を過ぎました。6年生は、1学期に増して、最高学年らしいリーダーとしての姿が、全校朝会のあいさつや、カスガモランドでの場面など、たくさん見られるようになりました。1年生はというと、担任の先生の発問に、しっかり挙手をして、「〇〇さん」と指名されると、「はい、□□です。」と答えられるようになりました。挨拶も、大きな声で元気のいい2年生の挨拶をお手本に、「おはようございます!」と返せるようになりました。

ある日の春日小の様子です。9月下旬から体調を崩す先生方が続いています。○年2組の授業に、△年1組の担任が、保健体育の授業を行い、○年1組の授業は、◇年2組の担任が、社会の授業を行い、さらに、□年1組の授業は、◇年1組の担任がALTの先生とともに、外国語の授業を行っています。専科の時間中担任の先生方は、教材研究や、学級事務などを行っていますが、他の学級の担任が病気などで休んだ場合、図書やテスト等をする「補教」という形で入ります。ところが、春日小の先生たちは、子どもたちの学習が遅れないように、綿密に計画を立て、何先生が社会を進める、何先生が保健体育を進める、何先生が道徳を行う、何先生が体育を行う、というように、みんなでフォローし合っています。「すごいぞ、春日小!」と校長として、とても誇りに思います。

10月には、5年生の移動教室を皮切りに、1、2年生、3、4年生の遠足があります。学校を離れ、自然や季節を感じながら、そこに住む人々の思いに触れたり、異学年の交流を通して、思いやりの心を育んだりします。

また、校長室にいと、上の音楽室から音楽会に向けての合唱や合奏が聴こえてきます。校長室の下からも音楽が聴こえてきます。1年生です。小さな指を動かしながら鍵盤ハーモニカを演奏しています。11月の音楽会が楽しみです。

どの学年も、残りの半年、様々な行事を通して、学習を繰り返しながら、たくましく成長することを願っています。時には我慢をすること、壁にぶつかることがあるかもしれませんが、きっと春日小の子どもたちは乗り越えて、達成感を味わってくれることでしょう。保護者の皆様、並びに地域の皆様の励ましの言葉、どうぞよろしく願いいたします。